

日本史の謎にせまる

歴史時代
小説

人名
から引く
伝説・逸話
3000
冊

凡 例

1. 本書の内容

本書は、日本の歴史上実在の人物が登場する歴史時代小説を人名ごとにまとめた図書目録である。幕末維新时期までに活躍した、伝説や逸話が残されている人物を選定し、代表的な作品の図書を収録した。

2. 収録の対象

- (1) 日本の歴史上実在する幕末維新时期以前の人物で、伝説や逸話が残されている人物を選定した。
- (2) 図書は、1945年（昭和20年）から2021年（令和3年）に日本国内で刊行された歴史小説・時代小説を対象とした。一部、戯曲や講談の図書も含んだ。登場作品が多い人物については、主要人物として書かれている作品のみに留めた。
- (3) 改題、改訂版や文庫版、異なる出版社からの刊行があった場合、原則として最新版のみを収録し、注記や他書情報に旧題や他社刊行等の情報を示した。同出版社内の旧版情報は適宜略した。
- (4) 児童書は対象外とした。
- (5) 収録人数は374名、収録図書数（書誌数）はのべ3,857点である。上下巻・シリーズもの等は適宜、書誌を1点にまとめた。

3. 見出し

人物名を見出しとした。原則として一般によく知られている名を採用し、別名からは必要に応じて参照見出しを立てた。

4. 排列

- (1) 人名見出しは、読みの五十音順に排列した。濁音・半濁音は清音とし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音符（音引き）は無視した。
- (2) 図書は、出版年月の新しいもの順に排列した。同一出版年月の図

書は、書名の五十音順に排列した。

5. 記載事項

(1) 人名見出し

見出し人名／よみ／生没年／別名
プロフィール

(2) 図書

書名／副書名／巻次／各巻書名／叢書名／叢書番号／版表示／著者表示／出版地（東京以外を表示）／出版者／出版年月／ページ数または冊数／大きさ／注記／定価（刊行時）／ISBN（㊦で表示）／NDC（㊮で表示）／内容

(3) 個別作品名

図書が短編集・アンソロジー・全集等の場合、見出しの人物が登場する作品名を「作品」として示した。

(4) 他書情報

同作品収録図書や、シリーズの刊行情報等を「*」として示した。

6. 一覧・索引

(1) 時代別人名一覧（p.381）

本文で見出しとした人物を活躍時代で分け、時代見出しの下に五十音順で排列した。時代見出しは「古代」「飛鳥・奈良」「平安」「鎌倉」「室町」「安土桃山」「江戸」「幕末・維新」とした。

(2) 著者名索引（p.387）

図書の著者を五十音順に排列し、その下に書名と掲載ページを示した。「作品」および「*」で示した作品や図書は索引の対象外とした。

(3) 一覧・索引の読みは、濁音・半濁音は清音とし、ヂ→シ、ヅ→スとした。促音・拗音は直音とみなし、長音符（音引き）は無視した。

7. 典拠・参考資料

各図書の書誌事項は、データベース「BookPlus」およびJAPAN/MARCに拠った。

後醍醐天皇 ごだいごてんのう 正応1年(1288)～延元4/暦応2年(1339) 〔**別名**〕 尊治親王

第96代に数えられる天皇。在位1318-1339年。後宇多天皇の第2皇子。討幕を計画するが、正中の変、元弘の乱共に失敗し隠岐へ流される。鎌倉幕府は滅亡後は建武新政を行うものの足利尊氏と対立、南朝を樹立した。怨霊化した姿が『太平記』にみえる。

『**歴史小説 後醍醐天皇・記**』植木静山著 幻冬舎メディアコンサルティング、幻冬舎（発売）2016.11 363p 19cm 1600円 ①978-4-344-91008-9

武力を持たない後醍醐天皇が、覆敗した鎌倉幕府へ挑む！二度の倒幕計画の失敗、隠岐への高流し、足利尊氏の難反、建武の新政の崩壊―何度でも立ち上がる破天荒な帝・後醍醐天皇の波乱の生涯を描く、歴史大ロマン小説。

『**後醍醐帝と大桜**』近藤厚著 文芸社 2007.3 150p 19cm 1143円 ①978-4-286-02521-6

隠岐島に流罪となった後醍醐天皇が旅の途次、美作出雲街道近くのとある小さな村に逗留された。そこには帝も愛でたという壮麗な桜が今に残る。しかし、その桜には村の若い男女の悲しい恋の物語が…。

『**虹の橋**』三好康弘著 文芸社 2001.12 385p 19cm 1000円 ①4-8355-2867-0

鎌倉幕府を倒し、天皇親政を復活させた後醍醐天皇、そしてその寵妃として政治の実権を握った廉子。南北朝時代の幕開けを彩った二人の実像に迫り、足利尊氏、楠木正成、新田義貞ら諸武将の活躍と共に描いた歴史ロマン。

『**後醍醐復権の野望―小説日本通史 鎌倉幕府 - 室町幕府**』（祥伝社文庫）邦光史郎著 祥伝社 2000.12 601p 15cm 857円 ①4-396-32829-X

後醍醐帝は遠大なる野望に燃えていた。かつて後鳥

虎徹 こてつ ?～延宝6年(1678) 〔**別名**〕 長曾禰虎徹

江戸初期の刀鍛冶。近江の人。作品は数珠刃と呼ばれる刃文を特色とする。寛文年間(1661～72年)頃を最盛期に名声を得た。晩年の作品に「住東叡山忍岡辺」と銘したものがある。

『**半百の白刃一虎徹と鬼姫 上・下**』（講談社時代小説文庫）長辻象平著 講談社 2017.7 15cm

越前の甲冑師だった長曾禰興里は、齢五十を前に江戸に出て、刀鍛冶を目指した。だが自己流で鍛えた無骨な刀身は売れぬ、と刀屋は冷たい。興里の刀の真価を見抜いたのは、鬼姫の異名をとる旗本家の美貌の娘柳香だった。なんと死体を重ね、興里の刀を振り下ろしてみせた。鬼姫との出会いが興里の道を開く。

『**刀剣―歴史時代小説名作アンソロジー**』（公文文庫）末國善己編 中央公論新社 2016.4 347p 19cm 740円 ①978-4-12-206245-0

刀剣。それは古来、日本人の魂であった。美しく、妖しいその魅力は時に人を助け、また時にはその心を狂わせた。持ち主を守る時にだけ斬れる刀をめぐる感動の時代ファンタジー「魔刀」(宮部みゆき)などを収録。八人の名手と八振の名刀が紡ぐ、至高の時代小説短編集。

羽帝が目指し志半ばで潰えた王政復古、つまり天皇親政の再建である。二度の蒙古襲来で鎌倉政権は衰退している。元弘三年、楠木正成、新田義貞、足利尊氏の挙兵に助けられ、後醍醐帝はついに討幕を果たした。しかし帝を待ち受けていたのは、皇位に二帝が叩くという、前代未聞の南北朝の動乱だった…。

『**闇の後醍醐銭**』久住純著 叢文社 1998.3 337p 19cm 1800円 ①4-7947-0284-1

名将名和長年の進言によって、乾坤通宝を鑄銭普及して天下平定を旨とす後醍醐帝。吉野衆の頭領の遺児柱丸は諸国の名人鍛造師と半獄のような作業所に閉じ込められ、机上の空論をもてあそぶ公卿に振りまわされながら不眠不休で格闘するが、建武政権崩壊と共に銭の荷車と共に流転の道を一。銭とは結局なにか？ 移り行く歴史の底流の見えない帝王の笛に踊った壮大なる徒勞の物語。北朝の正体は？ 南朝の正体は？ 公卿とは？ 武士とは？ 商人とは？ 合戦とは？ 鋭く明察する吉野金屋衆の伊佐巳。

『**後醍醐天皇**』（徳間文庫）徳永真一郎著 徳間書店 1991.2 310p 15cm 500円 ①4-19-599266-4

天皇親政の実現と鎌倉幕府打倒こそ、天の命ずる使命だとたく覚悟されている後醍醐天皇は、日野義朝・日野俊基と倒幕を密議されたが、正中元年、六波羅の知るところとなって事は破れた。豪宕にして英邁無比の帝は、危難に屈せず元弘元年、笠置山に挙兵されたが、雄図むなしく隠岐配流の身となられたのだった。人皇、九十六代、古今無類の英雄、苦難の生涯を描く書下し大作。

『**作品**』 虎徹「虎徹」(柴田錬三郎)

『**名刀伝 2**』（時代小説文庫）細谷正充編 角川春樹事務所 2015.11 279p 15cm 760円 ①978-4-7584-3961-9

日本刀ほど、実用性と美を兼ね備えたものは世界にも稀である。靈性さえ備えた名刀に興味を惹かれる入り口は多々あるが、その初手として優れた書き手の短編集はいかがだろうか。傑出した刀剣は、実用性と美のみならず、読み手の心を掴む物語も帯びているのだ。苛烈な父によって鍛作りに邁進していた虎次郎が、刀工として名を成すに至るまでを描いた柴田錬三郎「虎徹」。海音寺潮五郎が呪われた剣の真実を探った「村正」を始めとして、東郷隆「試し胴」、赤江瀑「艶刀匠」、澤田ふじ子「賈の正宗」、山田風太郎「ガリヴァー忍法島」の六篇を収録。

『**作品**』 長曾禰虎徹 虎徹(柴田錬三郎)

『**いっしん虎徹**』（文春文庫）山本兼一著 文藝春秋 2009.10 508p 15cm 705円 ①978-

4-16-773502-9

越前から重病の妻と共に江戸へと向かった鍛冶の秘めたる決意。それは、「己が作った兜を、一刀のもとに叩き切る刀を鍛える」という途方もないものだった。後に彼の刀を、数多の大名、武士が競って所望したという、伝説の刀鍛冶、長曾禰興里こと虎徹の、鉄と共に歩み、己の道を貫いた炎の生涯を描く傑作

後藤又兵衛 ごとうまたべえ 永禄3年(1560)～元和1年(1615) 〔**別名**〕 後藤基次

織豊政権期の武将。黒田孝高・長政につかえる。豊臣秀吉の九州攻めや朝鮮出兵、関ヶ原の戦いで活躍。のち長政と不和になり各地を流浪。実録本や講釈などで快男子として語られた。

『**生きる故―「大坂の陣」異聞**』矢野隆著 PHP研究所 2016.10 348p 19cm 1700円 ①978-4-569-83166-4

死に場所を求める後藤又兵衛。生き抜こうとする一人の若者。二人が共に闘うとき―。圧巻の歴史長編。

『**後藤又兵衛**』（文春文庫）風野真知雄著 文藝春秋 2016.5 286p 15cm〈学研M文庫 2002年刊の再刊〉 680円 ①978-4-16-790612-2

時は天下分け目の戦乱期。朝鮮出兵、関ヶ原の戦いで一躍功名をさせた後藤又兵衛は、武功を誇る主君と対立し、流浪の身となる。辿りついた戦地は大坂の陣。真田幸村との出会い、豪快な散り際。戦術と戦術の相異を追い求めた武将が最後に探し当てたものは何だったのか。戦に明け暮れた男の生涯を描いた長編。

『**真田幸村と後藤又兵衛**』（PHP文庫）高橋直樹著 PHP研究所 2014.12 325p 15cm 740円 ①978-4-569-76251-7

五十男にして若殿と呼ばれる幸村、遊女屋で用心棒ぐらしする又兵衛。不遇の軍略家二人が、大坂城に入った。又兵衛が警戒する真田家の謎のスナイパー、幸村の脳裏に蘇る長篠の記憶、突如現われた亡父・昌幸と瓜二つの老人、そして決戦前夜の二人の秘策…。戦いの行方はいかに？ 全く先の読めぬ大坂の陣を展開させつつ、戦国最後の戦いに賭けた男たちの熱き魂を描いた力作長編。

『**軍師の生きざま**』（実業之日本社文庫）新田次郎、坂口安吾、宮本昌孝、海音寺潮五郎、火坂雅志、尾崎士郎、隆慶一郎、大佛次郎、国枝史郎、池波正太郎著 実業之日本社 2013.6 426p 15cm〈作品社 2008年刊の再刊〉 686円 ①978-4-408-55133-3

実力次第で立身出世ができる時代、彼らはいかに生を全うしたのか？ 戦国時代に活躍した名参謀たちの「生きざま」を描く。豪華作家陣による傑作歴史アンソロジー。

『**作品**』 後藤又兵衛(国枝史郎)

『**後藤又兵衛**』（人物文庫）麻倉一矢著 学陽書房 2013.5 335p 15cm〈「一本槍疾風録―戦国の豪将・後藤又兵衛(ノン・ボシエツト)」(祥伝社 1994年刊)改題〉 820円 ①978-4-313-75287-0

慶長二十年五月、大坂。後統の真田幸村隊の到着を待つ後藤又兵衛基次は、若い近習に頼まれ、己の怒涛の生涯を語りはじめる…。黒田官兵衛のもとで武将の生きがいを知り、黒田家中有数の豪将に成長す

長編。

『**心形刀**』（新潮文庫）柴田錬三郎著 新潮社 1996.10 283p 15cm 440円 ①4-10-115046-X
『**作品**』 虎徹

る。関ヶ原の戦いで「槍の又兵衛」と称される活躍で筑前大隅城主となるも、黒田家二代目・長政との確執から出奔し諸国を流浪。己の信念を貫いて生きた豪勇一徹な男の生涯を出雲阿国との交流を交えて描く長編小説。

『**夢幻の武人―後藤又兵衛異聞**』魁龍太郎著 PHPパブリッシング 2008.12 222p 19cm 1300円 ①978-4-904302-18-7

武人として誇らしく生きることを願い、戦国きつての武勇者と呼ばれた男、後藤又兵衛、その鮮やかな散り際を描く圧巻歴史小説。

『**軍師二人**』（講談社文庫）新装版 司馬遼太郎著 講談社 2006.3 427p 15cm 733円 ①4-06-275345-6

戦国の英雄たちの中で群を抜いて輝く二人の武将―天粟の智将・真田幸村と、千軍万馬の勇将・後藤又兵衛。名將なるが故の葛藤と互いの深い洞察を語る「軍師二人」。徳川家康の女性観を描く「徳川守り」。他、争乱の時代を生きた、戦にも、女にも強い、生き物の典型としての男たちを描く、興味尽きない短編集。

『**作品**』 軍師二人―真田幸村・後藤又兵衛
*「軍師の死にざま」(実業之日本社文庫) 実業之日本社 2013.6 ※作品社 2006年刊の再刊

『**司馬遼太郎短編集全集 4 1961.1～61.10**』司馬遼太郎著 文藝春秋 2005.7 509p 18cm 1714円 ①4-16-641490-9

『**作品**』 亮ろう物語
*「人斬り以蔵」(新潮文庫) 新潮社 2004.12 (88刷改版). 「言い触らし団右衛門」(公文文庫) 中央公論社 1993.3 (改版) (ほか)

『**蛇巻淵**』山崎強著 健友館 2000.9 148p 19cm 1000円 ①4-7737-0508-6

室町時代の応永の乱に題材を求め、武士の争いの中で過酷な運命にもてあそばれる農民の姿を描いた「蛇巻淵」。大坂夏の陣で落武者となった後藤又兵衛を核に、武士と農民の交流を爽やかに描く「立羽田の景」。現代に通じる生きる喜びと哀しみを流麗なタッチで表現した時代劇の傑作登場。

『**作品**』 立羽田の景

『**後藤又兵衛―大坂の陣に放った戦国きつての勇将**』（PHP文庫）黒部著 PHP研究所 2000.7 490p 15cm〈「勇将・後藤又兵衛」(1997年刊)の改題〉 800円 ①4-569-57428-9

1981.11　2冊　15cm　440円, 480円　④4-10-　112222-9

二宮尊徳　にのみやそんとく　天明7年(1787)～安政3年(1856)　〔**別名**〕幼名は、金次郎

江戸後期の農政家。少年期に父母を失ったため、没落した家を独力で再興し、その体験をもとに“報徳思想”を創唱。近代以降、孝行や勤勉が称えられ修身の教科書に登場。薪を背負って書を読む少年金次郎の像が小学校に建てられた。

『**達成の人―二宮金次郎早春録**』（中公文庫）植松三十里著　中央公論新社　2012.1　286p　15cm　648円　①978-4-12-205588-9

江戸後期、相模国の貧しい農家に生まれた二宮金次郎。相次ぐ両親の死、莫大な借金、洪水…苦難に直面するたび、黒松の苗に十年後の自分を誓う。武家・農村復興に尽力し、学びの姿勢と儉約精神で後世に偉人と称えられた、金次郎(尊徳)の若き日々。新田次郎文学賞・中山義秀文学賞受賞作家による傑作歴史長篇。

『**草の巨人―二宮尊徳伝**』和巻耿介著　毎日新聞社　1991.5　250p　19cm　1600円　①4-620-30787-4

天地自然の限り無き恵みの中から“積小為大”の哲理を悟って、これを実践。疲弊荒廃を極める全国六百

日本左衛門　にほんざえもん　享保4年(1719)～延享4年(1747)　〔**別名**〕本名、浜島庄兵衛

江戸中期の大盗賊。東海道筋で夜盗を働き、200人もの盗賊団の親分となった。河竹黙阿弥作の歌舞伎『青砥稿花紅彩画』（「白浪五人男」）の日本駄右衛門のモデルとして知られる。

『**完本 人形佐七捕物帳 5**』横溝正史著　春陽堂書店　2020.8　527p　21cm　4500円　①978-4-394-19014-1
〔**作品**〕日本左衛門

『**新吾十番勝負 2 お鯉の巻**』（嶋中文庫）川口松太郎著　嶋中書店　2005.12　325p　15cm　667円　①4-86156-350-X

出生の秘密を知った美玉丸は、将軍の子の幸せを信じず、父吉宗との対面を拒んだ。吉宗は美玉丸登城を見合せ、葵新吾の名と諸国通行の自由を与える。暗れて無位無官の剣道修行者となった新吾は、秋葉権現で浜島庄兵衛という浪人と知り合うが、実はその男、東海道筋に知らぬ者のない大盗賊日本駄右衛門だった…。

『**白浪五人帖・いだてん百里―山田風太郎妖異小説コレクション**』（徳間文庫）山田風太郎著　徳間書店　2004.4　636p　15cm　952円　①4-19-892052-4

徳川以降、最大の盗賊といわれた日本左衛門が自首？宝暦の江戸、策謀渦巻く時代を舞台に活躍する五人の白波たちの運命は…。著名な歌舞伎狂言に大胆なアレンジを加えた、巨匠の時代伝奇ロマン、これぞ白眉。『いだてん百里』を併録。

〔**作品**〕白波五人帖

＊『白波五人帖』（旺文社文庫）旺文社　1986.7、「白波五人帖」（集英社文庫）集英社　1993.2

『**白浪五人男―徳川の埋蔵金**』（双葉文庫）鈴木

余ヶ村の財政建て直しに碎身尽力した巨人・二宮金次郎の峻烈な生涯を描く。

『**露伴全集 第11巻 少年文学**』第2刷（第1刷：昭和24年）幸田露伴著　編纂：嶋牛会　岩波書店　1978.10　424p　19cm　2300円

〔**作品**〕二宮尊徳

＊『明治文学全集 95 明治少年文学集』筑摩書房 1970

『**武者小路実篤選集 第11巻**』武者小路実篤　青銅社　1965　467p　図版　22cm

〔**作品**〕二宮尊徳

＊『定本武者小路実篤選集 第12巻 伝記小説篇』日本書房 1961

『**新説二宮尊徳**』邱永漢著　春秋社　1963　246p　20cm

輝一郎著　双葉社　2003.3　347p　15cm　657円　①4-575-66142-2

「日本左衛門の一味は、義を知り仁に則り倫を守るべく天誅くだすものにて候」ご存知、日本左衛門、弁天小僧、忠信利平、南郷力丸、赤星十三郎の五悪人が、不敵にも「徳川埋蔵金」を狙う！太平の世を破天荒に生きぬいた極道どもを活写した、新歌舞伎痛快時代活劇の決定版

『**大盗賊・日本左衛門 上・下**』（光文社時代小説文庫）志津三郎著　光文社　2000.3　15cm　各590円

八代将軍吉宗の頃、全身黒装束の異形の日本左衛門が率いる一味が、東海道筋を荒らし回っていた。ある日、左衛門は御油の豪農・長右衛門の娘・佐和を凌辱せんと画策、襲撃する。だが、佐和を妹のように可愛がる御生流の達人・高田賛四郎に阻まれた。やがて佐和は婚約したが、その祝言の夜、ふたたび左衛門が襲い、彼女を凌辱して逃亡した…。文庫書下ろし長編時代ロマン。

『**隠密変化**』（春陽文庫）〔新装版〕　小山龍太郎著　春陽堂書店　1991.3　358p　15cm　560円　①4-394-15201-1

時は八代将軍徳川吉宗のころ、尾張六十一万石の殿様宗春の周辺には奇怪な影があった。牛込水道町の酒問屋「兵庫屋」を襲った怪盗五人組は、必死に追う捕方の目をくらまして、屋敷家市谷御殿の辺りでその姿をかき消した。つぎつぎに豪商が五人組に襲われたが、米問屋の奸商田島屋伝兵衛方の地下金蔵

から五人組が奪った四千両は偽金であった。吉原に遊ぶ尾張宗春を警護する近習頭は浜島庄兵衛であったが、その正体とは…。歌舞伎でおなじみの“白浪五人男”―弁天小僧菊之助・赤星十三・南郷力丸・忠信利平、そして日本駄右衛門、この怪盗五人男が大江戸を舞台にくりひろげる豪華絢爛の物語。“白浪五人男”を新解釈で描いて、第二回日本作家クラブ賞受賞の記念碑的作品。

『**江戸三国志 1**』（吉川英治歴史時代文庫）吉川英治著　講談社　1990.3　445p　15cm　600円　①4-06-196505-0
尾州徳川家の七男坊万太郎の邸から、將軍家拝領の鬼

額田王　ぬかたのおおきみ　生没年不詳　〔**別名**〕額田女王

『万葉集』の代表的な女流歌人。天武天皇に寵愛され、十市皇女を産むも後に天智天皇の妃となる。額田王をめぐる兄弟の三角関係は、後世に小説などで脚色された。『万葉集』に長歌3首・短歌10首（異説あり）を残す。

『**万葉の歌姫―額田王の告白**』橋田恵子著　KADOKAWA　2014.6　244p　19cm　1200円　①978-4-04-621322-8

『**額田王と吉野一古に恋ふる鳥**』上野誠文　書肆アルス　2012.11　47p　19cm　952円　①978-4-9905595-9-5

『**額田王**』鷹取玉琳著　文芸社　2012.10　286p　19cm　1400円　①978-4-286-12749-1

玉座の前で殺人が行われた乙巳の変、反乱軍が朝廷軍に勝利した壬申の乱、朝鮮半島に大軍を送りながら大敗を喫した白村江の戦い…。万葉の時代の恋多き女性歌人、額田王の目を通して、激動の7世紀をつぶさに描く。

『**名残の飛鳥―吾が妹 持続天皇の悲しき生涯**』（柏繪舎文芸シリーズ）大森達著　札幌柏繪舎、星雲社（発売）　2008.7　290p　19cm　1715円　①978-4-434-11976-7

大化の改新、白村江の戦い、壬申の乱―謀略に満ちた時代を生き抜いた女帝。その心の闇とは？ 額田王、天武天皇、大津皇子ら、時代に翻弄された人々への鎮魂歌。

『**奈良の残照―額田王と淡海三船**』池谷知子著　鎌倉　かまくら春秋社　2008.6　158p　19cm　1000円　①978-4-7740-0397-9

王の子として生まれながら、仏門に入り、身を隠さざるを得なかった御船王（のちの淡海三船）。還俗後、彼を待ちうけていたのは―。古の都をめぐり、みつけた歴史の残照。

『**天の川の太陽 上**』（中公文庫）改版　黒岩重吾著　中央公論社　1996.4　604p　15cm

鼠小僧次郎吉　ねずみこぞうじろきち　寛政9年(1797)～天保3年(1832)

江戸後期の盗賊。10年間に武家屋敷から計3000余両を盗んだという。小説、講談、戯曲になり、金持ちから金品を奪っては貧乏人に与える義賊として人気になった。河竹黙阿弥作の歌

女面をまんまと盗み出したのは、大盗日本左衛門。面箱の底には“御成敗ばてれん口書”も隠されていた。その口書によると、日本で客死した羅馬の貴族ビオの遺品“夜光珠の短剣”には、莫大な富と名譽が秘められているという。その行方をめぐり、万太郎と近侍の相良金吾、ころび伴天連の娘お蝶、丹頂のお桑などが入り乱れる伝奇ロマン。

『**日本伝奇名作全集 第3 野村胡堂**』カラー版　番町書房　1970　462p　図　20cm　680円

〔**作品**〕大盗日本左衛門

＊『現代長篇名作全集 第17 野村胡堂集』大日本雄弁会講談社 1953、「大盗日本左衛門」桃源社 1953

1100円　①4-12-202577-X

大化の改新のあと政権を保持する兄天智天皇の都で、次第に疎外される皇太弟大海人皇子。悲運のなかで大海人の胸にたぎる想いは何か。額田王との灼熱の恋、鬱勃たる野心。古代日本を震撼させた未曾有の大乱の全貌を雄渾な筆致で活写する小説壬申の乱。吉川英治文学賞受賞作。

『**茜に燃ゆ―小説 額田王 上・下**』（中公文庫）黒岩重吾著　中央公論社　1994.8　15cm　各580円

王権をめぐって骨肉が争い、権謀渦巻く宮廷。やがて壬申の乱に至る抗争のなか、天智は大海人皇子から額田王を奪う。両帝の妃になるという運命をたどりながら、つねに激しい情熱を内に秘め、誇り高く生きようとした万葉歌人の、謎につつまれた生涯を渾身の筆に描く長篇歴史小説。

『**額田王の挑戦―飛鳥探偵帖**』上宮真人著　立風書房　1991.3　308p　19cm　1500円　①4-651-66041-X

日本史上の最も重要な変革期飛鳥白鳳時代の空白を埋める文書、『留倭余録』発見。新羅、百濟、高句麗―半島三国の狭間で揺れるヤマト政権、東方に手を伸ばす超大国一唐。失敗に帰した大化改新、中大兄王子と中臣鎌足の特裁体制の行方は？ やがて古代国家の完成者となる天武天皇―大海人王子と額田王の愛…。有馬王子謀叛事件の真相は？ 定患法師はなぜ暗殺されたのか？ 綿密な考証と大胆な仮説、名探偵額田王が快刀乱麻を断つ。書下ろし古代史推理小説。

『**万葉幻想―額田王から柿本人麻呂まで**』伊藤見著　評伝社　1990.3　212p　19cm　1200円　①4-89371-817-7

おほかから人々が生きた万葉の時代の息吹を、幻想的に蘇えらせる珠玉の連作短編集。

喜多川歌麿	110	天竺徳兵衛	232	松平信綱	327
紀伊国屋文左衛門	111	東洲斎写楽	237	間宮林蔵	329
吉良上野介	115	徳川家定	243	丸橋忠弥	331
国定忠治	121	徳川家重	244	円山応挙	332
河内山宗春	130	徳川家継	244	宮本武蔵	339
虎徹	134	徳川家綱	245	森の石松	347
小林一茶	136	徳川家斉	245	八百屋お七	350
酒井抱一	149	徳川家宣	246	柳生三厳	351
佐々木只三郎	157	徳川家治	246	柳生宗矩	353
山東京伝	160	徳川家光	247	奴の小万	354
食行身禄	163	徳川家康	249	柳沢吉保	355
十返舎一九	164	徳川家慶	251	山田浅右衛門	358
下斗米秀之進	170	徳川綱吉	251	山田長政	359
ジャガタラお春	171	徳川秀忠	252	由井正雪	364
新門辰五郎	175	徳川光圀	254	祐天上人	366
崇源院	178	徳川吉宗	258	与謝蕪村	367
杉田玄白	179	鳥居耀蔵	266	淀屋辰五郎	371
仙厓義梵	186	鳥山石燕	267	頼山陽	371
千姫	187	直助権兵衛	269	雷電為右衛門	372
曾我蕭白	191	長沢芦雪	272	隆光	373
大黒屋光太夫	194	中山勘解由	274	柳亭種彦	374
高尾	200	二宮尊徳	280	良寛	374
高田屋嘉兵衛	202	日本左衛門	280	渡辺華山	378
高野長英	203	鼠小僧次郎吉	281		
高柳又四郎	205	長谷川平蔵	285		
宝井其角	207	英一蝶	288		
滝沢馬琴	209	塙保己一	289		
沢庵宗彭	210	林羅山	290		
姐妃のお百	216	幡随院長兵衛	291		
田沼意次	218	左甚五郎	294		
俵屋宗達	220	平賀源内	296		
近松門左衛門	220	平田篤胤	297		
千葉周作	222	平手造酒	298		
津軽采女	225	深井志道軒	300		
蔦屋重三郎	225	仏生寺弥助	310		
鶴屋南北	227	堀部安兵衛	318		
鄭成功	228	本阿弥光悦	320		
寺坂吉右衛門	229	曲淵景漸	323		
天一坊	230	松尾芭蕉	324		
天海	231	松平定信	326		

幕末・維新

榊原健吉	149
坂本乙女	152
坂本龍馬	153
三遊亭円朝	161
洪沢栄一	168
清水次郎長	169
ジョン万次郎	174
芹沢鴨	184
高杉晋作	200
高橋お伝	204
田中久重	218
千葉さな子	221
天璋院篤姫	234
唐人お吉	239
藤堂平助	241
遠山金四郎	242
徳川家茂	248
徳川慶喜	256
中岡慎太郎	270
永倉新八	271
榎崎りょう	276
乃木希典	283
原田左之助	290
土方歳三	292
松平容保	325
松平春嶽	326
山岡鉄舟	356
山南敬助	361
夜嵐お絹	366
吉田松陰	368

【あ】

阿井景子
 和宮お側日記 248
 高台院おね 129
 濃姫孤愁 41
 秀吉の野望 264, 370
 龍馬の姉・乙女 153
 龍馬の妻 277
 龍馬のもう一人の妻 222

愛須隆介
 女城主直虎と信長 20

青木重数
 太田道灌 67

青山淳平
 司令の桜一人と歴史の物語 30
 長英逃亡潜伏記—高野長英と伊達宗城異聞 203, 378

赤江瀑
 巨門星—小説 菅原道真青春譜 179

赤川次郎
 鼠、恋路の闇を照らす 282

赤木駿介
 石川五右衛門 22
 大利根任侠伝 299

赤瀬川隼
 甚五郎異聞 294
 天紙風筆 69

赤堀さとる
 うそつき光秀 3

赤間倭子
 新選組副長助勤 斎藤一 148

赤松光夫
 江戸の大山師—天才発明家・平賀源内 ... 297
 尼僧お庭番 231
 炎の聖女 318

秋月水虎
 修羅の王道 夢窓国師 343

秋月達郎
 京奉行 長谷川平蔵 34
 真田幸村の生涯 159
 信長の首—本能寺異聞 27, 275

秋月ともみ
 親世三代記 秘すれば花—歴史の襞にかくれた一族 107, 182

安芸宗一郎
 絵師金蔵 闇の道しるべ 50

秋津京子
 黄昏の夢物語 302

秋山香乃
 雨に添う鬼—武市と以蔵 72
 近藤勇 139
 獅子の棲む国 148
 晋作 蒼き烈日 201
 新選組藤堂平助 241
 新撰組捕物帖 37
 総司 炎の如く 76
 謀報新撰組 風の宿り—源さんの事件簿 37, 185
 歳三 往きてまた 293
 火の姫—茶々と信長 369
 氷塊 大久保利通 60
 密偵 148
 吉田松陰 大和燦々 368

安久沢連
 北の星乱れ—『後三年の役』物語 334

芥川龍之介
 芥川龍之介小説集 2 283
 河童 戯作三昧 210

上木戸富士男
 田原藤太—藤原秀郷と仙人野代文吾守 ... 307

朝井まかて
 阿蘭陀西鶴 39
 眩 92
 最悪の將軍 251

朝香祥
 明日香幻想—空蟬の章 191
 夏嵐—緋の夢が呼ぶもの 192

浅黄斑
 写楽残映—胡蝶屋銀治図譜 226
 ちょんがれ西鶴 39

麻倉一矢
 鬼の吉宗—將軍への黒い道 259
 吉良上野介—討たれた男の真実 117
 後藤又兵衛 135
 抜け荷大名—劍客大名柳生俊平 58

浅田翔太
 石燕妖怪戯画—妖怪絵師と夢追う侍 267

浅田次郎
 赤猫異聞 25
 一刀斎夢録 148
 壬生義士伝 33, 185
 輪違屋糸里 185

阿佐田哲也
 次郎長放浪記 169

日本史の謎にせまる歴史時代小説 —一人名から引く伝説・逸話 3000 冊

2021 年 11 月 25 日 第 1 刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2021

不許複製・禁無断転載

<落丁乱丁本はお取り替えいたします> (中性紙北越淡クリームラフ書籍使用)

ISBN978-4-8169-2898-7 Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。